

令和4年10月7日  
世界津波の日高校生サミット実行委員会

**「若き津波防災大使スタディツアー」及び「『世界津波の日』  
2022 高校生サミット in 新潟」を開催します**

平成27(2015)年に国連総会において制定された「世界津波の日(毎年11月5日)」を契機に、世界各国・日本全国の高校生が集まり、津波をはじめとする自然災害の脅威と対策を学ぶため、平成28(2016)年から「世界津波の日」高校生サミットが開催されています。

本年は、新潟県において、地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」をより一層深めることを目的に、「若き津波防災大使スタディツアー」及び「『世界津波の日』2022 高校生サミット in 新潟」を開催します。

### 1 開催日

スタディツアー：令和4(2022)年10月17日(月)～18日(火)の2日間  
高校生サミット：令和4(2022)年10月19日(水)～20日(木)の2日間

### 2 会場

スタディツアー：佐渡市、十日町市、糸魚川市等県内各地  
高校生サミット：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)展示ホール  
(新潟市中央区万代島6番1号)

### 3 主催

スタディツアー：公益財団法人 日中友好会館、株式会社 JTB  
高校生サミット：新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会

### 4 内容

スタディツアー：3班に分かれ、それぞれの訪問地において、防災・環境関連施設等の見学を通じて、防災・環境分野の経験や取り組みを学ぶとともに、スタディツアーの移動時間で、留学生と日本人高校生が交流する。  
高校生サミット：各分科会で、「災害を理解し、生き抜く力を高める」、「災害リスクの軽減」、「より良い復興に向け共に歩む」の3つのテーマについて、世界26か国の高校生が議論し、今自分にできることを考えます。(海外の高校生は、オンラインでの参加)

### 5 取材について

取材は申込制としますので、別紙1、別紙2を確認の上、取材申込書に記入して、申込をお願いします。

#### (1) 取材要領及び取材申込書について

各要領及び別紙3を確認し、取材申込書を申込先まで送付ください。  
スタディツアー：別紙1、1-①、1-②参照  
高校生サミット：別紙2参照

(2) 取材申込期限

令和4（2022）年10月14日（金）正午

(3) 申込先

世界津波の日高校生サミット実行委員会事務局（新潟県知事政策局政策企画課内）

高橋、佐々木

TEL：（直通） 025-280-5044 （内線） 2401

E-mail: ngt000160@pref.niigata.lg.jp

<参考>過去開催地

第1回（平成28年）高知県、第2回（平成29年）沖縄県、第3回（平成30年）和歌山県、第4回（令和元年）北海道 ※今回は、第5回目としての開催

○「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟 特設 Web ページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/tsunami2022/>

## 6 問い合わせ先

取材を希望する行事	問い合わせ先
若き津波防災大使スタディツアー	(株) J T B 霞が関事業部 担当：坪井、篠村 TEL：03-6737-9262／FAX：03-6737-9265
「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟	世界津波の日高校生サミット実行委員会事務局 (新潟県知事政策局政策企画課内) 高橋、佐々木 (直通) 025-280-5044 (内線) 2401 E-mail: ngt000160@pref.niigata.lg.jp

報道関係者各位

若き津波防災大使  
スタディツアー  
参加者への取材及び広報についてのお願い

公益財団法人日中友好会館  
株式会社JTB

スタディツアーにおける参加者（外国人留学生・日本人高校生）への取材及び広報について、下記の内容をご確認の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。事業概要については、別紙1-①実施要領をご確認ください。

## 記

### 1. 取材対応について

スタディツアーにおける参加者への取材は、原則として以下の公式プログラムのみ可能です。  
(別紙1-②日程案参照)

#### (1) 10月17日(月)

- 1班： 親松排水機場視察、きらりうむ佐渡視察、高潮対策堤防視察
- 2班： 越後妻有里山現代美術館 MonET 視察、絵本と木の実の美術館視察、まつだい農舞台、トヤ沢砂防堰堤視察、清津峡溪谷トンネル視察
- 3班： 防災に関する講義（長岡市国際交流センター）、フォッサマグナミュージアム視察、フォッサマグナパーク視察、須沢海岸視察

#### (2) 10月18日(火)

- 1班： 佐渡金山視察、北沢浮遊選鉱場視察
- 2班： 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい視察、信濃川大河津史料館視察、燕市産業史料館視察
- 3班： 山古志復興交流館おらたる視察、木籠集落視察、親松排水機場視察
- 共通： 新潟東港防災訓練

上記以外、移動時（バス内）に密着しての取材や、宿泊ホテルでの取材、通常の食事場所（プログラムとしての食事を除く）での取材は、原則としてご遠慮願います。

但し、個別に要望がある場合は、事前に必ずご相談ください。

駐車場については周辺の既存駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

### 2. 撮影について

撮影は可能ですが、プログラムの運営・進行の妨げにならないようご注意願います。撮影エリア等、制限がある場合は、現場の指示に従ってください。

### 3. インタビューについて

個別のインタビューについては、参加者本人の了承のもと行っていただくようお願いいたします。取材にあたり、通訳は準備していませんので、自社での対応をお願いします。

### 【お問合せ先】

株式会社JTB 霞が関事業部 担当：坪井・篠村

住所：〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 Tel：03-6737-9262 Fax：03-6737-9265

(※取材を希望される場合、事前にご連絡ください。訪問先・プログラムの都合により、制限される場合があります。)

以上

**若き津波防災大使**  
**Youth Ambassadors for World Tsunami Awareness Day**  
**【実施要領】**

### 1. 当事業の目的

本事業は、「日中植林・植樹国際連帯事業」(\*1下記)の一環として行われ、世界 25 カ国の高校生に、日本の津波の歴史や地震・津波への備え等の防災・減災の取り組みを学ばせ、今後の課題や自国での展開等の議論を行うことにより、各国共通の課題である地震・津波等災害の脅威や防災の知見を伝え、将来、地震・津波等災害の影響を最小化し、国土強靱化を担うリーダーを育成することを目的とする。新型コロナウイルスの影響により、海外からの訪日招聘が叶わないため、日本在住の外国人留学生及びオンライン参加の海外高校生を対象として実施する。「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟(\*2下記)に参加するほか、外国人留学生は新潟県にて日本の高校生とともに防災・減災に関する学習プログラム・視察や交流を行い、海外高校生はオンラインで防災・減災に関する学習プログラムに参加する。

\*1「日中植林・植樹国際連帯事業」の青少年等交流事業とは、中国をはじめとする外国の青年・青少年を訪日招へいし、植樹活動をはじめ、環境及び防災に関するセミナー出席、企業や関連施設の視察等を行い、参加者の環境及び防災意識の啓発と対日理解の一層の促進を図ること等を目的としている。

\*2「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟: 2015 年 12 月に国連総会において制定された「世界津波の日」(11 月 5 日)の啓発イベントとして開催される青少年による国際会議。2016 年に高知県で初めて開催されて以降、沖縄県、和歌山県、北海道で開催、コロナ禍により 2020 年、2021 年は実施できなかったが、今回、対面とオンラインのハイブリッド形式で 5 回目を実施する。日本の高校生のほか、世界 25 カ国の高校生が参加し、地震・津波等災害への備え、対応について学習し、話し合うとともに、各国青少年間の友好を促進する。また、記念植樹を行う。

### 2. 実施概要

- ・実施時期: 2022 年 10 月 12 日(水)、10 月 17 日(月)～10 月 20 日(木)
- ・活動内容: 「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟への参加、記念植樹  
 スタディツアー(防災・減災に関する視察・参観、日本の高校生との交流等)  
 防災・減災に関する学習プログラム(動画配信)等
- ・日 程: 10/12(水) オリエンテーション、防災・減災に関する学習プログラム  
 (※海外高校生のみオンラインで参加)  
 10/17(月)～10/18(火) スタディツアー(※日本在住の外国人留学生と日本人高校生のみ参加)  
 10/19(水)～10/20(木)「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟
- ・人 数: 105 名(外国人留学生 31 名、海外高校生(オンライン参加) 74 名)
- ・構 成: 25 カ国の高校生(日本在住の外国人留学生含む)・引率  
 [参加国]  
 ブルネイ/カンボジア/中国/デンマーク/フィジー/ドイツ/インド/インドネシア/ラオス/マレーシア/  
 ミクロネシア/モンゴル/ミャンマー/パプアニューギニア/フィリピン/大韓民国/サモア/ソロモン/  
 スリランカ/タイ/トンガ/トルコ/米国/バヌアツ/ベトナム
- ・実施団体: 公益財団法人日中友好会館、株式会社 J T B
- ・協 力: 各国関係機関

### 3. 実施団体

(公財)日中友好会館 総合交流部 稲垣、長澤  
 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3 TEL: 03-5800-3749/FAX: 03-3811-5263

(株) J T B 霞が関事業部 坪井、篠村(ささむら)  
 〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 23 階  
 TEL: 03-6737-9262/FAX: 03-6737-9265

以上

## 若き津波防災大使 スタディツアー 日程案

活動内容							
日時	1班		2班		訪問地		
	人数49名 (留学生11名、日本人高校生31名、引率7名)		人数48名 (留学生10名、日本人高校生31名、引率7名)			人数51名 (留学生10名、日本人高校生34名、引率7名)	
	参加国(留学生) ドイツ/インド/インドネシア/マレーシア/ モンゴル/フィリピン/スリランカ		参加国(留学生) カンボジア/中国/デンマーク/インドネシア/ マレーシア/フィリピン/トルコ/米国/ベトナム			参加国(留学生) インド/インドネシア/マレーシア/ フィリピン/タイ	
10/17 (月)	AM	親松排水機場視察	越後妻有里山現代美術館 MonET視察 絵本と木の実の美術館視察	防災に関する講義 (長岡市国際交流センター)	新潟県		
	PM	きらりうむ佐渡視察 高潮対策堤防視察	まつだい農舞台視察 トヤ沢砂防堰堤視察 清津峡渓谷トンネル視察	フォッサマグナミュージアム視察 フォッサマグナパーク視察 須沢海岸視察			
10/18 (火)	AM	佐渡金山視察 北沢浮遊選鉱場視察	長岡震災アーカイブセンター きおくみらい視察 信濃川大河津資料館視察	山古志復興交流館おらたる視察 木籠集落視察	新潟県		
	PM	新潟市内へ移動	燕市産業史料館視察	親松排水機場視察			
		新潟東港防災訓練					



# 「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟

“復興を力に、経験と教訓を世界へ” Oct. 19 – Oct. 20  
～雪国ではぐくまれた助け合いの精神から学ぶ防災～ (Wed.) (Thu.)

朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター) 展示ホール | 新潟市中央区万代島6番1号

Toki Messe, Niigata Convention Center, Exhibition Hall (Bandaljima 6-1, Chuo-ku, Niigata City)

## High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” 2022 in Niigata

*“The Power for Reconstruction: Experiences and Lessons for the World”*  
- Disaster Risk Reduction: Lessons from Snow Country's Tsu/Akai, the Spirit of Helping One Another -



世界約30か国・250名の高校生が集い、地震津波などの災害から命を守るため、自分たちに何ができるのかを議論し共に学びます。

Around 250 high school students from 30 countries will gather together to discuss and learn what they can do to protect their lives from earthquakes, tsunamis, and other natural hazards.



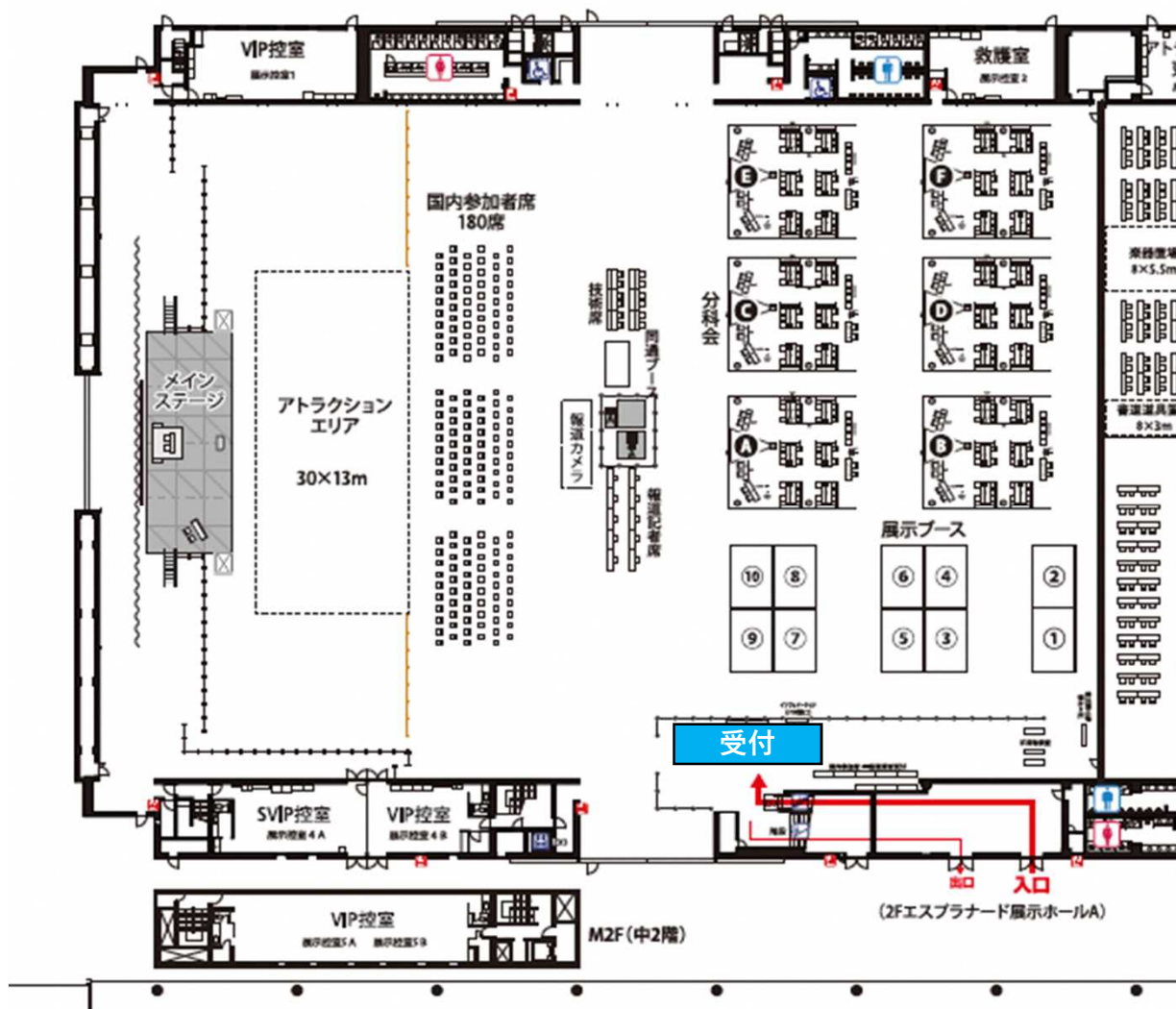
**WORLD TSUNAMI  
AWARENESS DAY**  
5 NOVEMBER 2022

# 取材にあたってのお願い

※必ずお読みください

## ■受付について

- ・報道関係者は会場入口で受付を済ませてから、取材を行うようにしてください。
- ・報道関係者受付では、本人確認のため、記者証、もしくは顔写真付きの身分証明書をご提示ください。
- ・名刺の提出をお願いいたします。
- ・受付開始時間は19日・20日共に8:30から行います（予定）。



## ■腕章の着用について

- ・取材に参加される方は、各社の腕章を常時見える形で着用してください。  
(腕章は上腕部に着用してください。腕章のない方は受付で貸出します。)

## ■駐車場について

- ・サミット会場内には報道機関用駐車場を設けておりませんので、お車でお越しの際は近隣駐車場をご利用ください。

# 取材にあたってのお願い

※必ずお読みください

## ■参加高校生へのインタビュー取材について

- ・19日は、サミット会場入場後からインタビュー取材を行っていただくことが可能です。
- ・サミットの進行の都合上、開会式、分科会、記念植樹、記念撮影、総会等の実施中及び移動中の参加高校生へのインタビュー取材はお控えください。
- ・休憩中及び待機中の参加高校生へのインタビュー取材については、各校・各国引率者の了承を得てから、行っていただくようお願いします。
- ・宿泊先ホテルでの取材は、原則禁止します。
- ・参加高校生へのインタビュー取材は、事前に腕章を各校・各国引率者に提示の上、行ってください。
- ・参加高校生へのインタビュー取材にあたって、主催者側で通訳は準備していませんので、原則として各社で対応をお願いします。

## ■撮影について

- ・プログラム毎に撮影場所等を指定していますので、後日改めて配布いたします。「取材位置」を確認のうえ、取材していただくようお願いします。
- ・撮影については、申込をした報道関係者並びに主催者が依頼した業者、記録撮影系のスタッフが行うこととしています。
- ・サミット運営側による記録撮影係員が当日撮影を行っており、報道関係者に許可された場所以外でも撮影を行う場合がありますが、主催者の記録に必要な措置であり、記録撮影係員と同様の取材行動はお控えください。
- ・参加者の安全と運営の進行を妨げることをないよう、ご協力をお願いします。
- ・報道関係者の撮影機器の運搬や管理は、各自の責任で行ってください。
- ・ドローン（無人航空機）等による空からの撮影は行わないでください。

## ■同時通訳受信端末について

- ・サミットの進行は原則として英語で行いますが、19日の開会式、20日の総会についてのみ同時通訳（英語⇄日本語）を行います。
- ・同時通訳の音声受信端末が必要な場合は開会式・総会開始前に報道関係者受付までお越しください。端末は各日終了後に速やかに報道関係者受付に返却してください。

## ■荷物について

- ・荷物の保管場所は特に設けておりませんので、各自の責任の上、管理をお願いします。

# 注意事項

会場にご入場の際は手荷物検査を行い、次に該当する物の持ち込みを制限させていただく場合がございますので、お持ちにならないようお願いします。

- 1.銃砲刀剣類
- 2.はさみ、針等の鋭利な物、又は包丁、ナイフ、カッター、カミソリ等の刃物
- 3.酒類、毒物、劇物、その他有害物質
- 4.発煙筒、爆竹、花火、爆発物、火薬、照明弾、油類、可燃物その他危険物
- 5.ボール、石、レンガその他投てきを目的と思われる物
- 6.レーザーペン、ガスホーン、紙ふぶき等サミットの進行を妨害するおそれのある物
- 7.吹矢、材木、木刀、棒、鉄パイプ、ハンマー、ドライバー、チェーン等凶器として使用されるおそれのある物
- 8.キックボード、スケートボード、ローラースケート、ローラーシューズ、その他通行に危険を及ぼすおそれのある物
- 9.遠隔操作や自動操縦等により飛行させることのできる無人航空機(ドローン、カメラ内蔵型マルチコプター、ラジコンヘリコプター等航空法により人が多く集まる場所での飛行が禁止されている物)
- 10.ホイッスル、拡声器、ラジオカセット、スピーカー その他大音量を発する物
- 11.アイスボックス、旅行用鞆等大型又は大量の荷物等
- 12.動物の類(盲導犬、聴導犬及び介助犬を除く)
- 13.無線通信機器(携帯電話を除く)
- 14.政治的、思想的若しくは宗教的な主義、主張若しくは観念を表示し、若しくは連想させ、又はサミットに支障を及ぼすおそれのある掲示板、立て看板、横断幕、懸垂幕、のぼり旗、プラカード、ゼッケン、文書、図画、印刷物等
- 15.特定の会社又は営利企業の宣伝を目的として、特定の会社名、製品名等を表示した物(特定の会社、製品等を連想させる物を含む)
- 16.高校生を主体とした事業としてふさわしくないと認められるもの
- 17.その他大会の運営若しくは進行を妨害し、他人に迷惑若しくは危険を及ぼし、又はそれらのおそれがあると認められる物

# 開催概要

---

開催日	2022年10月19日(水)～10月20日(木)
会場	朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）展示ホール （新潟市中央区万代島6番1号）
主催	新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会
共催	国連防災機関（UNDRR）駐日事務所
協賛	公益財団法人新潟県市町村振興協会
後援	国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官（防災担当）、外務省、 文部科学省、国土交通省、気象庁、経済協力開発機構（OECD）、 東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）

## ■全体テーマ

“復興を力に、経験と教訓を世界へ”～雪国で育まれた助け合いの精神から学ぶ防災～

## ■分科会の分野

- ・災害を理解し、生き抜く力を高める  
災害に対して的確な判断や避難を行うため、過去の災害や先人の教え、発生のメカニズムなどについて理解を深めるとともに、「自分の命は自分で守る」という姿勢を身につけ、自ら率先して安全を確保するための行動をとる。
- ・災害リスクの軽減  
災害を完全に防ぐことはできないことを前提とし、災害発生の可能性を減らし、また災害が発生した場合にも、その被害を最小限にとどめることを目指す。
- ・より良い復興に向け共に歩む  
復旧・復興に向けた学校や地域の活動に進んで参加・協力し、災害が起こる前よりも災害に強い、より良い地域社会を創る。また、復興に向け、国や地域を越えて協力を行う。

## ■開催趣旨

11月5日の「世界津波の日」の制定は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において、日本が提唱し、我が国をはじめ142か国が共同提案を行い、全会一致で採択されました。

翌2016年からは、世界各国の高校生が津波の脅威と対策について学ぶ場として、「世界津波の日」高校生サミットが開催されており、2016年の高知県では「黒潮宣言」、2017年の沖縄県では「若き津波防災大使ノート」、2018年の和歌山県では「稲むらの火継承宣言」、そして2019年の北海道では「イランカラプテ宣言」が採択されています。

この間においても、2018年のインドネシア・スラウェシ島での地震・津波をはじめ、火山噴火、洪水、森林火災など世界各地で大規模な自然災害が発生し、世界の持続可能な開発を進める上での大きな障害となっています。災害に対する脆弱性を減らし、被害を軽減していくことは国際社会の重要な課題の一つです。

日本において、私たちが暮らすここ新潟県は、豊富な雪解け水が豊かな農林水産業や環境を育むなど、海や山といった豊かな自然からたくさんの恩恵を享受してきましたが、その地勢や気候などの地理的条件から、地震、洪水、豪雪といった自然災害が発生しやすい地域でもあり、これまでも様々な自然災害に見舞われてきた歴史があります。

1964年の新潟地震では、地震発生後の津波や液状化により沿岸部や内陸の海拔ゼロメートル地帯で甚大な被害が発生し、また、最大震度7を記録した2004年の中越地震では、棚田など農村の原風景を有する中山間地で発生した大規模な土砂災害により、それぞれ多くの尊い命が失われました。

被災による多くの悲しみや苦しみを経験する中であって、助け合いや「きずな」は復旧・復興の糧となりました。また、中越地震からの復興を願い「何度、被害に遭っても、不死鳥のように蘇る」というメッセージが込められた「復興祈願花火フェニックス」は、災害からの復興の象徴です。

また、今年1月、トンガは、数十年に一度と言われる海底火山の噴火による津波により、沿岸部の低海拔地域において、甚大な被害を受けました。新潟地震による沿岸部や内陸部の海拔ゼロメートル地帯の被害からの復興と併せ、これらの教訓を、大洋州、アジアの国々等と今回のサミットで議論し、各国の防災、減災に生かしていくためにも、私たちには、大きな被害をもたらした災害の記憶を風化させず、その経験や教訓を次世代に伝承していくことが求められています。

本年は、新潟県において、地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」をより一層深めることを目的に、「世界津波の日」2022高校生サミットin新潟を開催します。

---

## ■スケジュール

10月19日(水)	9:00-13:45	分科会（発表・討論）
	14:00-14:45	開会式
	14:50-15:10	記念撮影※
	15:20-16:40	分科会（討論・統括）
	16:45-17:10	スタディツアー報告
	18:40-19:40	交流会
10月20日(木)	9:00-9:30	記念植樹・記念碑除幕式
	10:00-12:00	総会・閉会式※

※10/19記念撮影後、10/20総会・閉会式後に、議長等によるぶら下がり会見を予定しています。

## ■参加者

約305名（高校生、留学生及び引率）  
国内高校生 約150名  
留学生 約30名  
引率 約50名  
海外高校生 約75名（オンライン）



## 問合せ

---

### 【取材申込書の提出先】

「世界津波の日」2022高校生サミット in 新潟 実行委員会事務局  
(新潟県知事政策局 政策企画課 内)

担当：高橋、佐々木

〒950-8570

新潟県新潟市中央区新光町4番地1

新潟県庁行政庁舎1階（政策企画課分室）

Tel：025-280-5044（内線2401）

E-mail：ngt000160@pref.niigata.lg.jp

取材申込書記入にあたり、本誌を一読の上、取材申込書によりお申込みください。

○申込書の送付先

【提出先】

「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟 実行委員会事務局

E-mail: ngt000160@pref.niigata.lg.jp

○申込書の送付期限

令和4年10月14日（金）正午

○取材申込書の記入について

「若き津波防災大使スタディツアー」及び「『世界津波の日』2022 高校生サミット in 新潟」の取材申込書を提出していただきます。

(1) 報道機関名および連絡責任者等について

- ① 責任者は、本件について窓口となられる方の氏名等をご記入ください。
- ② 行事の急な変更、資料等をお送りするのに必要ですので、電話番号及びEメールアドレスをご記入ください。
- ③ 取材希望先及び必要事項を記入してください。取材にあたっては、現場の主催者による指示に従ってください。

(2) 各行事の問い合わせ

取材を希望する行事	問い合わせ先
若き津波防災大使スタディツアー	(株) J T B 霞が関事業部 担当：坪井、篠村 TEL：03-6737-9262/FAX：03-6737-9265
「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟	世界津波の日高校生サミット実行委員会事務局 (新潟県知事政策局政策企画課内) 高橋、佐々木 (直通) 025-280-5044 (内線) 2401 E-mail: ngt000160@pref.niigata.lg.jp

○若き津波防災大使スタディツアー取材申込書

取材機関名及び連絡責任者

社名			
住所			
連絡 責任者	所属（部署）名		
	氏名		
	TEL		
	FAX		
	E-mail		
	機材	<input type="checkbox"/> スチール	<input type="checkbox"/> ムービー

取材希望箇所

別紙1-② 日程案を参考に、取材を希望する活動内容を記入してください。

日付	取材先

【問い合わせ先】

株式会社 J T B 霞が関事業部 担当：坪井、篠村

TEL：03-6737-9262/FAX：03-6737-9265

